

平成14年1月18日

各 位

本店所在地 埼玉県行田市富士見町1丁目4番地1  
会社名 ジェコ株式会社  
代表者 取締役社長 楠 敬史  
コード番号 7768 (東証二部)  
問合せ先 取締役 坂田 創一  
TEL 048-556-7111 (代表)

## 中期経営計画ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、経営基盤の強化と経営体質の変革のため、予ねてより「リーンでスピーディな生産会社」の実現に向けて、当社グループを挙げて生産効率化の推進ならびに固定費低減諸施策を中心とした経営構造改革に取り組んでまいりました。さらにこの取り組みを強化し、2002年度から中期経営計画「Jeco Future Plan(略称：JFP)」として推進します。JFPでは、デンソーグループとの協業強化により新たな事業の柱を育成し、2003年度には営業利益率3%以上の達成を目標とします。

また、当社を取り巻く環境はますます厳しさを増しておりますことから、経営構造改革のスピードを上げ、業績の早期回復を目指すことが必要との判断に立ち、本日開催の取締役会において、下記の「構造改革プラン」の実施を決議いたしました。

また、「構造改革プラン」実施により、平成14年3月期の通期業績予想を修正いたしますので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### ・中期経営計画「Jeco Future Plan(略称：JFP)」について

当社は、現在の取り組みをさらに強化し、2002年度から2005年度まで中期経営計画「Jeco Future Plan」を展開します。JFPでは、「リーンでスピーディな競争力のある生産会社」を実現した上で、時計、コンビネーションメーター、カーエアコン用操作パネルなどの表示系製品と、コーナーポール、ABSモーター、電子スロットル用小型モーターなどのモーター系製品に加えて、新たな製品をデンソーグループとの協業関係強化のなかで育成していきます。生産機能に特化して意思決定が速くコストが安く高品質を実現する企業体質へと変革し、その上で生産品目を拡大し、長期安定的な収益構造を確立いたします。

収益面では2000年度、2001年度と2期連続赤字が見込まれる状況を脱却し、2003年度には営業利益率3%以上の達成を目標とします。

#### ・「構造改革プラン」について

中期経営計画の目標を達成するためのプロセスとして、経営構造改革のスピードを上げ、業績の早期回復を目指す「構造改革プラン」を実施します。

##### 1. 固定費の削減

「リーンでスピーディな生産会社」を実現するため、社内および協業先のデンソーグループとの業務を見直し、重複業務の整理、統合を行い組織の再編と人員の削減を実施いたします。これらを実施することにより、年間約8億円の固定費削減を見込んでおります。

1) 社内およびデンソーグループとの重複業務の整理、統合を行い、デンソーグループに統合する機能の要員を当社から、デンソーグループに出向実施

2) 希望退職者募集実施

希望退職者募集の概要

対象者	満40歳以上満59歳迄の社員
募集人員	100名
受付期間	2002年2月21日から 2002年2月28日まで
退職時期	2002年3月31日
主な優遇措置	1. 通常の退職金に特別割増加算金を支払う 2. 対象者への再就職支援を行う

3) その他の固定費削減

役員報酬および管理職給与の削減

福利厚生制度の見直しによる諸経費の削減

## 2.生産体制の適正化

玉川事業所を、2002年9月末を目処に閉鎖して本社工場に集約し、生産効率を上げます。  
事業所閉鎖後の不動産については、売却の方針です。

### 玉川事業所の概要

所在地	川崎市高津区久地790番地
敷地面積	7,398m <sup>2</sup>
建物	3,700m <sup>2</sup>
事業所在籍従業員 (2001年12月末現在)	26名

## 業績予想の修正

### 1.14年3月期業績予想数値の修正(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成13年11月20日発表)	19,000	-360	-270
今回修正予想(B)	19,000	-360	-870
増減額(B-A)	0	0	-600
増減率	0.0	-	-
前期(平成13年3月期)実績	18,426	-181	-315

### 2.14年3月期連結業績予想数値の修正(平成13年4月1日～平成14年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成13年11月20日発表)	19,500	-400	-290
今回修正予想(B)	19,500	-400	-890
増減額(B-A)	0	0	-600
増減率	0.0	-	-
前期(平成13年3月期)実績	18,842	-221	-395

## 3.理由

経営構造改革のため上記の「構造改革プラン」実施に伴い、希望退職により見込まれる割増退職金等約10億円を特別損失に計上する見込みでありますことから、平成13年11月20日に公表いたしました単独業績、連結業績の通期見通しをそれぞれ修正するものです。

以上

## [ご参考]

### 1.ジェコ - 株式会社の概要

- (1) 設立 : 1952年2月
- (2) 社長 : 楠 敬史
- (3) 資本金 : 15億6千万円
- (4) 株主構成 : トヨタ自動車(28.7%)、デンソー(20.3%)、朝日生命保険(4.2%)、あさひ銀行(4.1%)、UFJ銀行(3.0%)
- (5) 事業所 : 本社工場、玉川事業所、名古屋事務所(営業拠点)
- (6) 売上高 : 195億円(2002年3月期予想)
- (7) 主要製品 : 自動車用時計、自動車用計器類、車載用モーター類および応用製品 など
- (8) 販売先 : トヨタ自動車、デンソー、アスモ など
- (9) 従業員数 : 625名

### 2.経営構造改革を推進する理由

当社は1952年に日本真空時計として設立した自動車用時計のトップメーカーで、国内シェアは約40%です。近年自動車部品のモジュール化、インテグレーション化が進み、収益の主力製品である時計の単体装着が急減し、売上の減少が避けられず、時計を中心とした従来の製品群だけでは利益確保がむずかしくなっています。

モジュール化、インテグレーション化へ対応した表示系システム製品の開発を当社単独で行い国際的な競争を繰り広げるのは困難と判断し、1999年6月から株式会社デンソーおよびそのグループ会社であるアスモ株式会社との協業を開始しました。現在デンソーからカーエアコン用操作パネル、コンビネーションメーターの一部を、アスモから自動車用小型モーターの一部を導入して協業体制で生産しており、これらの協業品の売上に占める比率が約25%に達しています。

協業品により売上の減少をカバーしてきたものの、新規生産品目の原価改善活動の遅れに国際的な部品価格の競争激化が加わり、収益構造が大幅に悪化しています。2001年3月期に26年ぶりに経常利益が約2億円の赤字となり、今期も通期で約4億円の赤字を予想しています。

生産品目や売上構成が協業品中心へと変化しているなかで、相対的に固定費の負担が重くなっています。当社は、この状態を放置すれば構造的な赤字要因となりかねないと考え、中期経営計画「Jeco Future Plan」を策定し、生産機能に特化して意思決定が速くコストが安く高品質を実現する企業体質へと変革し、その上で生産品目を拡大し、長期安定的な収益構造を確立いたします。

なお、現在当社には有利子負債はありません。